

能登半島訪問

(7月5日、6日)



復興のシンボルとなっている伝統行事
「あばれ祭」(能登町)



発災当時から現在の対応に至るまで熱心にお話くださる珠洲市・泉谷市長（写真：右側）



被災者、支援者の支援として、全国から駆け付けていた「トイレトレーラー」(株洲市)



海岸部隆起の影響により通行できなくなった橋梁（輪島市）

所属会派の有志や災害復興ボランティアの皆様とともに能登半島（能登町、珠洲市、輪島市）を訪問し、被災地支援の現状と課題、地域の伝統文化継承の重要性等を学ばせていただきました。

能登町では、現地調査とともに約350年続く伝統の祭り「あばれ祭」に参加させていただき、地域の皆さんと一緒に「キリコ」(灯籠型行燈)を担ぎ、大松明の炎を浴びました。「命より大切なものの。それは故郷とあばれ(祭)」。その言葉に復旧・復興への決意と住民同士の魂の結び付きを強く感じました。

珠洲市では、被災者、支援者の衛生環境を守るため、私も普及を推進する「トイレトレーラー」の現地調査を行うとともに、珠洲市長から復旧・復興の現状と課題についてお伺いしました。倒壊家屋の取壊しと生活再建（人口流出対策）、指定避難所ではない地区集会所への避難実態、受援対応、情報発信など貴重なお話を聴かせていただきました。

この他、輪島市も含め今回の現地調査により、激甚災害に対する長期的支援や地域住民の復旧・復興に対する前向きな気持ち、強い団結力が重要であることを改めて感じました。

今後も能登半島支援を続けつつ、三重県の半島防災、全
域の防災減災対策に力を尽くしてまいります。
お世話になった能登の皆様、ありがとうございました。

令和6年度 県土整備部 公共事業実施予定箇所（三重郡を抜粋）

菰野町

3 一般国道 306 号 (田光)



10 梅戸井〇 265



1 一般国道477号（菰野バイパス）



20 21 22 北勢中央公園

